

令和2年度入学生 家政科履修系統図

アドミッション・ポリシー

各入試において、以下の基礎的学力、人間的側面について確認された人を受け入れています。

① 物事に責任感・誠実さをもって立ち向かう情熱をもち、社会的活動や家庭生活において必要な知識・技術を身につけて、貢献したいと考えている人

② 豊かな思考力・判断力・表現力と向上心を持って目標に向かって真摯に努力できる人

③ 人との関わりを大切にしながら、主体性を持って相互理解のために努力できる人

④ 高等学校までの学習で培った基礎的学力を身につけている人

カリキュラム・ポリシー

建学の精神に則り、高い教養・情操と専門的な知識や実践的な技術をバランスよく身につけ、社会的活動及び家庭において貢献できる人材の育成を目的としてカリキュラムを編成しています。家政科共通の科目として、共通科目、家政科コア科目、支援科目を設置しています。共通科目は、変動しつつある社会に対応できる力と豊かな教養、社会人として必要とされる力を身につけるための科目です。家政科コア科目は、家庭を中心とした生活を総合的、科学的に学ぶ科目です。支援科目は、短期大学の課程を履修するのに必要な基礎知識を補充し、かつ、社会人基礎力の礎となる科目です。

ディプロマ・ポリシー

所定の単位を修得することによって、以下の能力を身につけた学生に対して学位を授与します。

① 仕事や家庭生活に必要な専門的な知識・技術をもち、豊かな生活に向けてそれを実践できる能力【知識・技能】

② 高い教養、情操及び倫理観（責任感）をもって物事を的確に理解、判断、表現することにより問題解決を図ることができる能力【思考力、判断力、表現力】

③ 社会的活動や家庭生活に参画するために、多様な他者に配慮しつつ協働する能力、自分の意見を主体的に主張できる能力【主体性、多様性、協働性】

教育目的

職業又は實際生活に必要な能力を具備する女性の育成

		卒業時の学習成果(到達目標)	1年前学期	1年後学期	2年前学期	2年後学期
共通科目	独自	スピーチをするなどコミュニケーション能力を磨くとともに短大生としてのマナーと技術を身につける。	●教養基礎演習			
	総記	社会で必要とされる、情報を収集・整理するための情報通信技術（ICT）の基礎的能力や資格などを身につける。	●情報技術	ビジネスエクセル ビジネスワード ビジネスパワーポイント		ビジネスエクセル ビジネスワード ビジネスパワーポイント
	哲学	人間心理に対する理解力を養い、それに基づく行動力を身につける	心理学			
	社会科学	基本的な社会の仕組みとその変化を学ぶとともに、社会における自発的営為の必要性について理解し、社会の一員として必要な行動をするための基礎的な考え方を学ぶ。	ボランティア論	フードコーディネーター実習 レストランサービス実習	現代日本の社会問題 異文化と世界 日本国憲法と法律	
	芸術・美術	自らの将来に向け、社会的・職業的自立のために必要な意識やコミュニケーション能力を含む基礎的能力を身につける。	●キャリア形成Ⅰ ビジネスマナー	キャリア形成Ⅱ	ビジネスマナー	
	言語	心身が健康であることの重要性を学び、運動を通じて健康な身体を育み、体調を保つことの重要性を学び、日常生活の中で適切な運動を実践できるようにする。	●運動と健康	●標準英語スキルズ	応用英語スキルズ 英会話	
家政科コア科目	家庭を中心とした生活を総合的、科学的に認識し、生活の質の向上を目指して学ぶことにより、自らの人生を作り出し、社会に貢献する力を身につける。	●家政学概論 △食生活論 ●衣・住生活論	●家族関係学	○妊娠・出産・保育の科学 ○介護概論 ●家庭経営学	●消費生活と環境	
支援科目	入学時よりも基礎学力が定着し、社会人基礎力の礎になっている。	英語基礎演習				

●卒業必修科目（両専攻）

○卒業必修科目（生活デザイン専攻）、選択科目（食物栄養専攻）

記号なし選択科目（両専攻）

△卒業必修科目（生活デザイン専攻）、食物栄養専攻では設置せず

